

そよげ風

山口市立小郡小学校

No.23 学校だより

平成23年10月3日

国体見学：水球にみる努力

校長 上田 保明

半世紀に一度という国体の開会式が天皇皇后両陛下をお迎えして、10月1日に盛大に開催され、私も出席しました。本校からも開会式の選手団入場の先導隊パレード隊として吹奏楽部の5名が入場演奏をしました。堂々たる演奏と行進で感動しました。また、震災復興を願う大会でもあるため、各県の選手団も入場には横断幕を持参し工夫を凝らしていました。その選手団の入場にも感動しました。日頃から鍛えたアスリートぞろいで、はつらつとした行進、態度でした。

開会式の諸行事に感動しながら、開会式に先立って9月中旬に行われました水泳競技の応援・観戦に参加した5、6年生の感想を想起しました。9月14日にきらら博記念公園プールで行われた“水球”を観戦した子供たちの多くが帰校後、水球のすごさを口にし感嘆していたことを思い出したのです。水球は8分間（ゴール後や反則時のロスタイムは除かれるのでいつも10分程度になるようです）の4ピリオドを行うようで、その運動量の多さには驚愕したようでした。足のつかないプールで立ち泳ぎをし、しかも体をぶつけ合って激しくボールを奪い合う競技を目の当たりにして国体級のスポーツ大会のレベルの高さを実感したようです。これには伏線があって、観戦に行く前に、担任は子供たちにプールでポートボールをさせていました。プールで競技することの大変さを体験していたので、観戦した水球のすごさに感動したようです。

子供たちの感想のほとんどは、長時間の立ち泳ぎに耐える体力と気力のすばらしさに感動したというものでした。泳ぐことの大変さを実感している子供たちは“訓練・鍛錬”することの大切さを口にしていました。日々のたゆまない努力が8分間以上も泳ぎ続ける体力と気力として結実するのです。

つい先日、たまたまテレビを見ておりますと、楽天の元監督の野村さんがお孫さん（小学校高学年）と二人で40年ぶりに野村さんの生まれ故郷を訪ねる番組を流していました。年齢差のある二人の会話がかみ合わなかったり興味の視点が違っていたりしていましたが、微笑ましい番組で、つつい見入ってしまいました。野村さんが都会育ちのお孫さんに野性味を持つことの大切さと、繰り返し話していたことが“努力”することの大切さでした。野村さんのお孫さんのみならず多くの現代っ子に欠けていることは“努力”という言葉に象徴される日々の取組のように私も感じます。“夢をもつ教育”は強く推進していますが、実現するには地道な精進が必要なことは当然です。

水球を観戦した5、6年生は少しなりと、日々の地道な“努力”の大切さを学んだことでしょうか。“努力”という観点から国体を見守り、ご家庭でも話題とされてはいかがでしょうか。

<9月を振り返って>

9月は、校内科学作品展、2年校外学習、5・6年国体見学（水球）、5年自然体験学習、一日フリー参観日、給食試食会等のたくさんの行事が実施されました。

6月から実施していました水泳学習も終了し、小学校最後の泳ぎを楽しんだ6年生にその感想を書いてもらいました。水泳への取り組み状況やプールへの感謝の言葉をご紹介します。

水泳の学習を終えて

6年1組 男子児童

1年生のころ、ぼくは水泳の授業がきらいでした。なぜなら全く泳げなくて、25m泳ぐなどとても無理だと思っていたからです。2年生や3年生になってもあまり興味はわからず、面倒なだけだと思っていました。

しかし、4年生で初めて25mを泳げた時、「あれっ、水泳ってこんなにおもしろい授業だったんだ。」と思いました。ぼくの気持ちは達成感でいっぱいになりました。5年生になって初めての水泳記録会では、25m自由形で納得のいく速さで泳ぐことができました。6年生の記録会では、初めての50m自由形を泳ぎました。25mのタイムも上がっていて、すごくうれしかったです。

この6年間の水泳の授業はとても楽しかったです。中学校に行っても、水泳の授業をがんばりたいです。

水泳学習を終えて

6年2組 女子児童

わたしが今年がんばったことは、平泳ぎです。理由は2つあります。1つ目は、みんなできているのにわたしはできなかったの、何度も練習したらできるようになったことです。去年は、全く泳げなかったけれど、家のふとんの上で練習したり、友達とプールで練習しているうちに泳げるようになりました。2つ目は、足の動きに気を付けたことです。来泳ぎは、足の動きが重要で難しいな、と思ってました。心配だったので先生に足の動きを見てもらい「合格」と一発で言われ心の底からうれしかったです。去年はクロールをがんばったことだったけれど、今年平泳ぎです。

小学校のプールともさようなら。ちょっとさみしいけれど、プールに感謝しています。「おつかれさま」。

水泳の学習を終えて

6年3組 女子児童

今年の水泳の授業で初めてできたことがあります。それは、平泳ぎです。去年は、足が着いて泳げなかったけれど、今年足を着かずにできたのでうれしかったです。また、水泳記録会では、練習の時よりもすごくタイムが上がっていたので、とてもうれしかったです。練習では、クロールで足が着いたときもありました。でも、あきらめずに最後まで泳ぎました。次第に自信をもって泳げるようになりました。

楽しかったことは、洗濯機と水球と自由時間です。洗濯機では、流れに乗るのが一番楽しかったです。水球では、ゴールキーパーをして、ほとんどボールをとることができました。自由時間では、ほとんど話をしない友達とも、鬼ごっこなどをして仲良く過ごすことができました。

今年の水泳はとても楽しく、小学校最後のプールは大変思い出深いものとなりました。





地下道開通

9月6日(火)、念願の地下道が開通しました。写真は、上山手交差点付近の様子です。

余裕をもって通行できるのは、歩行者にとっても運転手にとっても、とてもありがたいことです。

いざという時のために非常ベルも設置されています。交通事故は一瞬にして起こってしまう非常に怖いものです。縦1列で今後とも安全に気をつけて登校してほしいものです。



「おやじの会」によるあいさつ運動推進

9月12日(水)、おやじの会による「あいさつ運動」が実施されました。朝の忙しい時間帯に、時間を割いて子供たちのあいさつ力向上のために一肌脱いでくださいました。

ご家庭でも、「おはよう。」「行ってきます。」「行ってらっしゃい。」「ありがとう。」などのあいさつを大事にして、心の通い合う町にしていきたいものだと思います。



5年自然体験学習(宿泊学習)

9月20日(火)から9月22日(木)まで、5年生がとても楽しみにしていた自然体験学習(宿泊学習)が十種ヶ峰青少年野外活動センター(徳佐)で行われました。台風15号の影響があり、20日(火)と21日(水)は雨天時のプログラムに変更を余儀なくされましたが、一転最終日は晴天の下、十種ヶ峰登山を実施し、参加者全員登り切ることができました。写真は、「森のチャレンジコース」学習の一場面です。

「家庭の元気応援キャンペーン」推進中

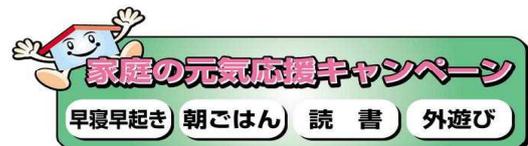
山口県で行われているこのキャンペーンは、家庭教育の充実に向けて次の4つの事項についてみんなで考え取り組むために進められています。

- ◇基本的な生活習慣を身に付けましょう。
- ◇家族がふれあう機会をもちましょう。
- ◇手伝いを積極的にしましょう。
- ◇父親の子育てへの参加を進めましょう。

また、県教育委員会や県PTA連合会と連携をとりながら、

「早寝早起き朝ごはん 本を読んで外遊び みんな仲良く今日も元気」

をスローガンとして取り組まれていますので、ご家庭でもこの趣旨に賛同していただき、是非取り組んでほしいと思います。



10月の行事予定

日	曜	行 事 等	日	曜	行 事 等
3	月	給食費集金日	24	月	クラブ活動
4	火	全校朝会 ALT来校 代表委員会(6校時) ふれあいフェスタ・プロジェクト会議	27	木	学年集金日
5	水	国体バレーボール練習会場(～7日まで体育館全面使用不可)	28	金	サイエンス山口2011開幕 (11月13日まで)
6	木	6年修学旅行(1日目)	11月の行事予定		
7	金	6年修学旅行(2日目) 4年遠足	2	水	校内音楽会
10	月	体育の日	7	月	代表委員会
11	火	山口県青少年劇場 (10:00～11:20)	8	火	就学時健康診断(受付12:50)
13	木	体力テスト バザー品搬入	9	水	給食費集金日
14	金	フェスタ前日準備	10	木	全校計算大会
15	土	小郡小学校ふれあいフェスタ・PTAバザー(10:00～13:30)	11	金	山口市小学校合同音楽会 1年遠足
17	月	委員会活動 ALT来校 教育実習(～28日)	14	月	委員会活動
18	火	にこにこタイム	15	火	にこにこタイム
20	木	2年遠足	17	木	学年集金日
21	金	3年社会見学	21	月	クラブ活動
			23	水	勤労感謝の日
			24	木	全国国語科教育研究大会の前日準備
			25	金	全国国語科教育研究大会
			30	水	全校漢字大会

「交通安全優良学校」として表彰されました

9月22日(木)に「交通安全優良学校」の表彰式が山口南警察署で行われ、校長が出席しました。今回、本校が受賞した賞は「山口南警察署・山口南交通安全協会賞」。この受賞は、学校だけのものではなく、家庭・地域の今までのご協力の賜と考えております。平素からの子供へのご指導に感謝申し上げます。

さて、子どもの交通事故は、歩行中、自転車乗用中に多く発生しています。その原因は、道路への急な飛び出しや、駐車・走行車両の直前・直後の横断、信号無視、自転車乗用中の安全確認や一時停止の怠りなど。子供の歩行中の交通事故の半数以上は、本人の交通ルール違反が原因で起こっています。

子供の交通事故を防ぐためには、子供に道路にはさまざまな危険があることを理解させ、交通ルールをきちんと身に付けさせることが重要です。子供と一緒に、自宅周辺の道路を歩き、どのようなところが危ないか、なぜ危ないかを確認し、そのような場所ではどのようなことに注意したらよいかを、話し合ってみましょう。

また、次のような交通安全の基本ルールを教え、身に付けさせることも大切です。まずは大人が交通ルール・マナーを守る姿勢を見せ、子供のお手本になりましょう。

子供と約束 交通安全ルール

- 道路に急に飛び出さない。
- 道路を横断するときは、横断歩道や信号のある場所で。
- 信号が赤のときには渡らない。
- 信号が青になったら、左右をよく見て、車が来ないことを確かめて渡る。
- 道路や車のそばでは絶対に遊ばない。

